平成25年６月市議会定例会　一般質問
質問する議員名及び質問内容

◎　個　人　質　問

1　議　員　　成　田　芳　雄

⑴　教育行政について

①　既存の小中学校存続の上での小中一貫教育校の開設

・　義務教育９年間を通した一貫カリキュラムにより、小中学校が連携・交流し、児童・生徒一人ひとりの個性や能力を最大限に伸ばすとともに、学校、家庭、地域がともに手を携え、より一層充実した教育の推進を図るため、既存の小中学校存続の上での小中一貫教育校をとりあえず一校開設し、評価・検証すべきと考えるが見解を示せ

・　開設の必要性と課題は何か見解を示せ

②　森林環境学習事業

・　全ての小中学校において、森林環境学習を取り組むことにより、自然環境を保全していこうとする意識を養い具体的に行動できる児童生徒を育成しているが、取り組んでいる内容とその成果、課題を示せ

2　議　員　　清　川　雅　史

⑴　まちなか活性化について

①　地域経済の現状と対策

・　東日本大震災以降、本市における地域経済は、風評被害の影響もあり、厳しい状況にあると考えるが、これまで本市独自の地域経済活性化となる政策的な取り組みも行われており、特に本年はＮＨＫ大河ドラマ「八重の桜」効果で、本市がテレビ等で取り上げられる回数もふえ、観光客の入り込み数が昨年より大幅に増加している。これらの効果による本市の地域経済の現状についてどのように分析しているのか認識を示せ

・　観光客の入り込み数が昨年より大幅に増加しているが、その経済効果は、中心市街地の商店街にはほとんど波及してこないとの意見が散見される。基本的には各商店街や個店の努力により、経済効果がもたらされるようにすべきではあるが、中心市街地における消費、購買の推進とまちなか観光による交流人口の拡大が図れるよう、呼び水的にま

ちなかにおける経済の振興策を講じて行くべきと考えるが見解を示せ

② 中心市街地活性化

・ 中心市街地活性化基本計画に位置づけている神明通り商店街をはじめ野口英世青春通り、大町通り、七日町通り、中央通りを中心とした、これらの通りにつながっていく会津ふれあい通りや本町通り等を対象に会津まちづくり応援隊の活動により生まれた、まちなか賑わいづくりプロジェクトが進められているが、これまでの各事業の進捗状況及びその効果と評価を示せ

・ まちなか賑わいづくりプロジェクトによる中心市街における経済効果について、どのように分析しているのか。また、今後の経済波及効果についてはどのように想定しているのか認識を示せ

・ まちなか賑わいづくりプロジェクトを進めて行く中での課題は何か。また、その対策についてはどのような検討が行われているのか認識を示せ

・ 会津まちづくり応援隊のような地域の特性と人を生かした活動は、今後、まちなか（中心市街地）を対象とするだけでなく、中心市街地以外も対象とした活動へ拡大していくことや別途同様の応援隊を組織していくことも検討すべきと考えるが見解を示せ

③ 中心市街地の環境の整備

・ 第６次長期総合計画における基本施策「中心市街地の環境の整備と地域個性を創出する」に基づき各種事業が行われているが、これまでの成果と評価を示せ

・ 旧中合会津店舗跡地の利活用の動向や国の新たな中心市街地の活性化政策を踏まえて、中心市街地活性化基本計画の見直しを進めるとしているが現在の計画見直しの状況を示せ

・ 旧中合会津店舗跡地の利活用については、基本的には民間の問題ではあるが、まちなか賑わいづくりプロジェクトの通りごとの重点事業に示されている中合会津店舗跡地活用事業について、現在どのように進捗しているのか。また、本市として、どのようにかかわっていくのか考えを示せ

④ 各施策との連携

・ 会津若松駅周辺は、公共交通機関が発着する交通の拠点であり、中心市街地活性化基本計画に位置づけられている

商店街、特に大町通り商店街、中央通り商店街との総合的な商業空間の整備が必要と考えるが、会津若松駅前の再開発事業の進捗状況と今後の方針について見解を示せ

・　ＮＨＫ大河ドラマ「八重の桜」の効果により、観光客の入り込み数が昨年より大幅に増加し、本市中心部においては交通量が増加しているものの鶴ケ城周辺や観光関連施設等では交通整理人員の配置や各店舗での駐車場誘導などにより、ある程度、交通渋滞が緩和されているが、中心市街地商店街においては、特段の措置がなされておらず、土日祝日などはかなりの交通渋滞が起きている。これらを是正するための方策を講じるべきと考えるが見解を示せ

⑵　歴史・文化資産の活用について

①　古墳群の発掘調査

・　本市には３世紀から４世紀前半に築造されたと推測される、多くの古墳が点在しているが、一箕古墳群は国史跡である会津大塚山古墳を代表に、堂ケ作山、飯盛山古墳等が中心に形成されており、これまでも各古墳の個別調査が進められてきているが、保存の範囲と現在までの発掘・調査の実績を示せ

・　大塚山古墳より約50年古いと言われている堂ケ作山古墳やそれよりも古いと言われている飯盛山古墳では、我が国の古墳時代の歴史を解明していく上で、非常に貴重な埋葬品があると考えられているが、文化庁より開発行為や修復以外に埋葬主体部の調査は行うべきではないという見解により、これまでに詳細な発掘調査が行われてきていない。文化庁への発掘許可申請の可能性について見解を示せ

・　実際に発掘するのではなく、光ファイバースコープやレーザースキャナーなどによる調査も有効と考えるが、今後の調査方針を示せ

・　一箕古墳群の保存整備については、指定を受けている大塚山古墳、堂ケ作山古墳と指定をされていない古墳とでは、保存と整備のあり方に違いがあるが、今後、新たな技術開発による発掘調査の可能性もあることから、現存の形で後世に残していく必要があると考えるが見解を示せ

②　遺跡、史跡の活用

・　一箕古墳群の位置関係やそれぞれの古墳の形状、出土品等について、３ＤＣＧや写真データ、各種学術的な解説データ等を組み合わせたものを作成することで、学術的な資

料、教材として活用できると考えるが見解を示せ

・　会津若松の古墳時代の学術的なデータを整理し情報発信していくことは、マイス観光（学術会議・研修・セミナー等を伴った観光）の資源としても、有効であると考える。マイス観光へつながるような遺跡・史跡の活用への見解を示せ

3　議　員　　丸　山　さよ子

⑴　地域福祉と本市の取り組みについて

①　地域福祉を推進するための体制づくり

・　地域福祉を推進するには、自治体や地域住民、民間団体が連携しながら、地域を単位として福祉問題を取り上げその解決を目指す仕組みが必要だと考える。これらの目標を達成するため、市としてどのような検討をしてきたのか認識を示せ

・　現在、地域福祉を推進するために、さまざまな事業者や組織が協力しているが、縦割りの協力体制にとどまっていることが多いと認識している。地域福祉を推進するという観点からは、住民、行政、社会福祉協議会、社会福祉法人、事業者等さまざまな横のつながり、協力が重要になると考えるが、これらの連携をどのように図っていくのか考え方を示せ

②　地域福祉計画策定方針

・　会津若松市地域福祉計画策定方針が明らかになり、地域福祉の概念、計画の策定の目的、計画の位置付け、基本姿勢、計画に盛り込む事項、策定体制などに、行政、地域住民、社会福祉関係団体との協働が明記されている。行政、地域住民、社会福祉関係団体等の役割分担についてどのように検討していくのか認識を示せ

③　地域福祉計画策定に至る本市の現状と課題

・　地域福祉計画では各福祉分野に共通する課題をどこで把握し、課題解決へ導いていくのか認識を示せ。また、身近な地域で誰もが困りごとを相談でき、解決に導くための方法を考え、寄り添う窓口があれば、市民の安心がさらに高まると考える。そういった地域ごとの相談窓口のあり方への認識を示せ

4　議　員　　渡　部　優　生

⑴　富士通グループの事業再編と既存企業に対する対応について

①　会津若松市内における富士通グループの事業再編の状況及び内容

・　近年、会津地域の経済、雇用、さらには市の税収等を支えてきた富士通グループが、事業再編することに伴い大規模な希望退職を募るなど容易ならざる状況と認識する。ついては、会津若松市内における事業再編の状況及び内容についてどのように把握しているのか認識を示せ

②　事業再編に伴う各種影響

・　これら事業再編に伴い事業規模が縮小されると聞くが、市における各種影響についてはどのように想定されるのか、市の見通しを示せ

・　事業再編または事業縮小に当たり、市としてはこの間どのように情報収集に努め、市としての意向を伝えてきたのか見解を示せ

③　誘致企業との連携、支援対策

・　新規の企業誘致もさることながら、現に立地している企業との情報共有や支援対策が重要と考える。既存企業との連携強化についてどのように対応するのか見解を示せ

・　誘致企業からの要望や課題の収集はどのように行っているのか、それらをどのように扱い、企業側に伝えているのか、現状の取り組みを示せ

・　会津産業ネットワークフォーラムとの連携は重要だが、フォーラム頼りになっていないか見解を示せ

⑵　除雪対策について

①　平成24年度の除雪の総括と今後の対応

・　平成24年度も大変な大雪に見舞われた。市民との意見交換会においても除雪に関し、市民から改善に向けての要望をいただいたところである。市としては、平成24年度の除雪に関し、どのように総括し、今後の対応を図るのか認識を示せ

②　除雪と排雪の考え方

・　市内の狭あいな道路など除雪しきれない地区においては、排雪に力を入れるべきとの意見もあるが、除雪すべき地域と排雪すべき地域、さらには、除雪を基本とした地域においても降雪量によっては排雪をすべきところもあるものと考えるが、市の基本的な考えについて見解を示せ

③　地区における雪捨て場の確保対策

・　地区における雪捨て場の確保については、重要と考えるが地区または所有者との十分な了解を得ないために苦情となるケースもあると聞く。どのように調整しているのか、経過と対応を示せ

④　除雪機械及びオペレーターの確保

・　近年、建設業者の経営難を背景として、除雪機械を処分したり、オペレーターを解雇するなど、機械、人材ともに不足している状況にある。市としては、これらの対策をどのように考えているのか認識を示せ

・　歩道の除雪も、また、大きな課題の一つと考えるが、市としてどのように歩道の確保を進めるのか見解を示せ

⑤　私道路に対する除雪の考え方

・　私道路の除雪については、高齢化とともに除雪ができなくなりつつあるとして、市に直接実施して欲しいとの要望が市民との意見交換会でも多く寄せられる。状況によっては私道路でも直接除雪する方策を制度として制定すべきと考えるが見解を示せ

⑥　生活道路整備事業補助金の活用状況と課題・対策

・　生活道路整備事業補助金の活用が低調であると認識するが、活用状況とあまり活用されない原因と改善に向けての方策を示せ

⑶　鶴城小学校の建設について

①　建設に当たっての基本構想

・　鶴城小学校の施設整備については、今後の本市の教育行政のモデル校としての役割も持たせるべきと考えるが、市は施設整備にあたりどのような基本目標・理念のもと進めてきたのか見解を示せ

②　鶴城小学校の配置計画

・　基本目標の実現に向け、施設についてはどのように整備されるのか概要を示せ

・　また、鶴城小学校は当初、小中連携の理念を掲げていたと認識するが、その理念は生かされるのか見解を示せ

③　住民要望の反映

・　施設の配置については、種々議論のあるところと聞くが、施設配置についてのこれまでの経過と最終的な方向性はどのようにするのか認識を示せ

・　施設配置については、特に北側道路に面する方々よりさ

まざまな要望がなされていると聞くが、その要望内容と解決策を示せ

・　また、それらは地域住民の理解が得られているのか見解を示せ

④　事業のスケジュール

・　今後の鶴城小学校建設スケジュールを示せ

5　議　員　　渡　部　　認

⑴　史跡若松城跡総合整備計画と観光施設事業特別会計について

①　天守閣再建50周年に向けた新たな取り組み

・　今年度予算化した、御三階復元検討図面作成業務の進捗状況と復元計画に向けた新しい動きについて認識を示せ

・　お濠の浄化計画としゅんせつ工事の必要性と実施計画の見通しを示せ

・　天守閣再建50周年記念事業計画について、現段階での構想と予算確保についての考え方を示せ

②　史跡若松城跡の公園保存整備と植栽の管理

・　文化庁から指摘されている西出丸の復元と駐車場として使用している現状をどう解決すべきか見解を示せ

・　鶴ヶ城公園内の桜などの管理と新たな植栽を今後どのように進めていくのか、年次計画を策定すべきと思うが見解を示せ

③　観光施設事業特別会計

・　特別会計の目的と役割、現在まで果たしてきた成果と今後の事業計画を具体的に示せ

・　若松城整備等基金積立金の取り扱いと運用についての基本的な考えと中長期的な運用計画、将来に向けた基金積立金のあり方などについて見解を示せ

⑵　観光誘客と受け入れ態勢の整備、経済波及効果の認識について

①　大河ドラマ館運営の現状と課題

・　現在までドラマ館の入館者数を含めた市内主要観光施設の入り込み実数の把握と今後の予約状況からみた年間入り込み数の見込みについて見解を示せ

・　観桜期からゴールデンウィークにかけて行った交通渋滞対策の検証と今後の課題は何か。具体的に必要な施策を示せ

・　夏休みから秋の行楽シーズンにかけて市内観光入り込み

数のピーク時予想について見解を示せ

② 新規事業の実施状況と成果及び今後の見通し

・ 会津セレクション実行委員会の目的と市のかかわりを示せ。また、フィレンツェ日本映画祭へ参加した目的と成果を市としてどのように捉えているのか認識を示せ。さらに、今後の事業に市としてどのような役割を果たしていくのか見解を示せ

・ ＮＨＫ大河ドラマ放送に合わせて、京都と会津の民間団体や自治体の交流が活発化しているが、持続的な交流事業をどのように進めていくのか。また、同志社大学との共催事業についてどんな計画があるのか認識を示せ

・ 国・県、ゆかりの関係自治体との連携事業は今後どのように展開されていくのか見解を示せ

③ 市内観光入り込み客による経済波及効果の認識

・ 教育旅行の直近来訪校数と目標 400 校実現の可能性への認識を示せ

・ 教育旅行で来訪する児童・生徒一人当たりの市内平均消費単価をどのように試算しているのか。また、観光産業全体における経済波及効果の試算の必要性について見解を示せ

・ 観光産業のここ数年の雇用状況の変化をどう捉えているか。また、今後の雇用対策について見解を示せ

・ 東山・芦ノ牧両温泉の観光入り込み数の推移と旅館・ホテルが仕入れる域内収支の割合について認識を示せ

⑶ 公共施設白書からみた公共建築物のあり方について

① 公共施設白書の概要と指針

・ 公共施設白書の役割・位置付けを示せ

・ 具体的に対象施設とその用途別分類方法を示せ

② 今後の大規模改修や将来に向けた建てかえ計画の考え方

・ 公共施設全体の状況をどのように分析し、今後の建てかえ計画に生かしていくのか認識を示せ

・ 保有施設の更新費用推計の基本的な考え方と耐用年数及び更新時期についての課題は何か見解を示せ

・ 耐用年数が経過している公共施設の取り扱いと更新単価、直近の投資的経費・投資額の実績を示せ

③ 公共施設整備の現状と今後のあり方

・ 市民文化・社会教育系施設の利用状況と一人当たり年間コストや稼働率をどう積算しているのか。また、今後、利

用料金の改定などが必要ではないのか見解を示せ

・　学校教育系・子育て支援施設について、旧耐震診断基準の建物割合はどうなっているのか。また耐震補強や建てかえ計画の優先順位をどのように決めていくのか見解を示せ

・　保健・福祉・医療施設において、それぞれ利用状況に差が生じているが、今後、高齢化を迎えて施設の拡充を計画したり、逆に、休止・廃止を予定している公共施設はあるのかないのか見解を示せ

・　行政系施設と公営住宅の中には、旧耐震基準で築70年を超える建物も見受けられ、早急に取り壊しを含めた対応が求められると認識している。今後、全体計画をどのように進めて行くのか見解を示せ

6　議　員　　土　屋　　隆

⑴　健康わかまつ21計画の推進状況について

①　本市の平均寿命の認識

・　現在の本市の平均寿命を示せ

・　10年前、20年前の本市の平均寿命の推移を示せ

・　平均寿命を延ばすために努力してきた事項を示せ

・　今後の数値目標について何年後までに平均寿命を何歳にするのか、そのための具体的な努力事項を示せ

②　生活習慣病の予防

・　第１次健康わかまつ21の中にある「生活習慣病を知る」について、これまでの取り組みの総括と今後の課題を示せ

・　生活習慣病予防の知識の普及に全市をあげてもっと力を入れることが大事だと思う。特に学校教育（学齢期）において、生活習慣病の予防のための知識を身につけることは、絶対に必要と思うが見解を示せ

・　ライフステージに応じた健康づくりとして年代別の取り組み内容が示されているが、人生全体を見渡した健康づくりについて考える契機を、特に学齢期・青少年期につくることが教育の現場において必要と思うが見解を示せ

③　がん予防対策

・　健康づくりの第１歩は自分の体の状態を知ることであり、特定健康診査やがん検診の受診率を向上させることが重要であることは言うまでもない。受診率向上のための努力目標を示せ

・　平成25年２月21日、ピロリ菌の除菌に保険適用が拡大さ

れ、胃がん予防が大きく前進すると期待されている。ピロリ菌の除菌に保険適用が拡大したことの市民への周知はどのように行っているのか、その内容を示せ

・　胃がん検診の中身はどうなっているか示せ。また、胃がん検診にピロリ菌検査も追加すべきと思うが見解を示せ

7　議　員　　伊　東　く　に

⑴　保育行政について

①　待機児童解消についての方向性

・　本市において、潜在的待機児童は増加している。しかし、本年４月時点で認可保育所は定員 100 ％を超えている状況である。保育所への入所を希望する新たな需要に対応し、どのような手法で解決を図るのか見解を示せ

・　民間の認可保育所の中には老朽化が進んでいるが需要は高い施設がある。保育環境の維持改善のために市はどのような支援をすべきと考えているか見解を示せ

②　公立保育所の果たすべき役割

・　産休明けや０歳児、障がい児の対応を図るため市が責任を持って公立保育所の充実・整備を図るべきと考えるが見解を示せ

・　保育内容の充実・質の向上について具体的にどのように取り組もうと考えているのか認識を示せ

⑵　生活保護行政について

①　生活保護法改定と申請窓口対応のあり方

・　扶養義務者への通知や収入、資産状況の調査はこれまでも行ってきたことであるが、法として明文化することにより、保護申請をためらう人がふえることが心配されるが、窓口対応に対する認識を示せ

②　厚生労働省からの指示

・　３月に厚生労働省は全国の自治体に対して保護申請権を侵害するような誤った説明は避けるようにという通知を出した。本市の受け付け相談やケースワークの中で具体的にどのように周知され生かされているのか認識を示せ

③　生活保護、生活扶助基準の改定による影響

・　平成25年８月より生活扶助基準が改定されることによって、状況が変わっていないのに生活保護が廃止される、申請をしても受給に至らないというケースがふえることが心配される。本市においてどの程度の影響があると想定され

るのか見解を示せ

・　就学援助等の他の制度に対しての影響について、どの制度にどの程度の影響があると想定されるか示せ。また、あわせて本市の対応策を示せ

④　自動車の保有と活用

・　自動車の活用により生活の質が向上し自立が図られるのであれば積極的に認めるべきと考えるが、自立に向けた自動車の保有と使用への見解を示せ

⑤　健康づくりと医療費

・　生活困窮者を医療から遠ざけない取り組みが必要と考える。これは生活保護における医療扶助を減らすことにもつながると思われる。国民健康保険税の申請減免制度を拡充すべきと考えるが見解を示せ

・　あわせて生活保護世帯の医療費を圧縮する方策を示せ

8　議　員　　佐　野　和　枝

⑴　認知症施策について

①　認知症に対する取り組み

・　認知症のケアには早期発見・早期対応が必要である。そのためには認知症の人の実態把握をすべきと考えるが、本市ではどのような取り組みをするのか認識を示せ

・　認知症施策総合推進事業の取り組みがされる中で、認知症の適切なケアの提供のために、認知症地域支援推進員1名が配置されるが、その取り組みは何か見解を示せ

・　認知症にかかる課題、サービスの把握と分析が必要であり、介護する人に寄り添った対策のあり方が必要と考えるが対策を示せ

・　今後、増加していくことが見込まれる中で、認知症の人が住みなれた地域で可能な限り生活を続けていくためには、在宅サービス等の介護サービスで、十分な対応ができるのか、今後のサービスのあり方をどう図るのか見解を示せ

②　若年性の認知症施策の強化

・　若年性認知症に対する本市での取り組みが、行政方針書の中では明記がされていない。今後、認知症は高齢者だけではなく、若年者も発病していることから、その対策は必要である。医療機関や、相談できる窓口の明確化など、本人、家族も安心できる体制をつくるなど、今後の取り組みへの見解を示せ

・　若年性認知症の人が発症初期の段階から、状況に応じた適切なサービスが利用できるよう、支援のハンドブックを作成し、不安解消を図るべきと考えるが見解を示せ

・　若年性認知症の人や家族などにとっては、地域で交流できる居場所が不足しているのではないかと考える。本人、家族や身近にいる地域の住民が、認知症に対しての正しい理解をもつこと、また、偏見を持たないための対策をし、地域でも交流ができる場を多く持つ取り組みが必要と考えるが見解を示せ

⑵　県立医科大学会津医療センター開業に伴う公共交通について

①　通院しやすい公共交通の利便性

・　平成25年２月定例会での企画政策部長の答弁の中で「県立医科大学会津医療センターの開院に伴う公共交通の確保については、路線バス塩川・喜多方線の現行ダイヤは、受け付け、診療時間等に対応したものではないことから、午前中の利用を手厚くすべく、ダイヤ案について調整をしてきているところ」とされたが、どのように調整が進み、どのような現状なのか、また残された課題は何か見解を示せ

・　交通弱者の県立医科大学会津医療センター通院への対応策として、河東と会津医療センターと北会津をつなぐ東西路線の新設や、幹線道路までのバス路線の未整備遠隔地域を回る交通手段の確保などが考えられるが、市では対応策をどのように考えるのか見解を示せ

9　議　員　　阿　部　光　正

⑴　水道事業について

①　入札要綱見直しの必要性

・　水道施設工事における入札の落札率が95％から97％台と高止まりしている。この要因への見解を示せ

・　市の土木一式工事、建築一式工事は最低制限価格付近に落札価格がおさまっているが、これとの違いについてどう考えているか見解を示せ

・　福島市、郡山市、いわき市など他市の水道施設工事と本市の水道施設工事はどこが違うのか。入札制度上の問題があるのか見解を示せ

・　事実上、水道事業者のみが独占となっているように思われるが、制度上に問題があるのではないか認識を示せ

・　制度上問題があるとしたら、この制度は市当局が作成し

たものでもあるので官製談合とも疑えるが改善策を示せ

⑵　行財政改革について

①　職員の定数

・　市が雇用している全ての正規職員の人数を示せ

・　正規職員の他団体等への出向者の人数を示せ

・　市におけるアルバイト等非正規職員の人数を示せ

・　アウトソーシング等で市が外部に委託している団体の数及び各部ごとの業務の名称を示せ

・　アウトソーシング等で市の仕事をしている人数を示せ

②　職員の給与等

・　出向を含む正規職員に支払われている給与等の総額と市がＯＢを含む職員等に支払っている社会保険料等一切の総額を示せ

・　アルバイト等非正規職員への給与等の支払総額を示せ

・　アウトソーシングに支払われている総額を示せ

・　三役を除いて市職員で最高給与所得者の所得額、また、その人の退職金と年金月額を示せ

・　今回国から示されている給与減額支給措置の要請に対する市の考えを示せ

⑶　福祉政策について

①　高齢者の福祉と医療

・　かつて東京都などで実施していた75歳以上高齢者の医療費を無料とすべきと考えるが見解を示せ

・　もし仮に75歳以上の高齢者の医療費の無料措置を実施した場合の概算必要経費を示せ

・　市では以前、国民宿舎あいづ荘の代替措置として高齢者への温泉利用助成事業を実施してきたと思うが、市の一方的な都合での廃止は納得できない。高齢者の福祉施策として温泉利用助成券を復活すべきと考えるが見解を示せ

・　特別養護老人ホームを土地の価格の安い湊町に建設すべきと考えるが見解を示せ

②　国民健康保険証

・　高齢者・生活困窮者等の暮らしを支える観点から国民健康保険税の支払いができない人に対して特別な減免制度で救済し、健康保険証が全ての市民の手にわたるようにすべきと考えるが見解を示せ

③　知的障がい者政策

・　障害者支援施設においては、一般雇用が困難な者を入所

させて、自立に必要な日常生活の訓練や職業を与えて自活を支援しているが、農業を中心とした機能訓練等を行うべきと考えるが、農村地域への大型障害者支援施設の建設への見解を示せ

⑷　建設・開発行政について

①　除雪の抜本対策

・　除雪をしても雪の置き去りが問題となっている。排雪の充実を図るべきと考えるが見解を示せ

・　雪国の市民の生活を守る観点から優先順位を決定し、融雪道路や流雪溝を年次計画を立てて整備していくべきと考えるが見解を示せ

②　道路と公園の整備

・　背あぶりトンネルの建設についての市の見解を示せ

・　背あぶり山の都市公園計画を復活すべきと考えるが見解を示せ

・　田面浜にオートキャンプ場を設置し、活性化を図るべきと考えるが見解を示せ

10　議　員　　松　崎　　新

⑴　公共施設マネジメントについて

①　公共施設全体のマネジメントのあり方

・　安全性を確保するためには、適切な予防保全投資によって長寿命化をはかり、ライフサイクルコストを最小化するとともに年度間の必要経費を平準化し、老朽化施設が危険な状態に至る前に、時期を失うことなく公共施設の予防保全に対応すべきと考えるがその認識を示せ

・　先行自治体の報告によれば、公共施設白書や長寿命化計画を策定してマネジメントを計画し実行するには、現状の組織体制と財源措置などを再考し、さらに地域住民、利用者の理解の上で施設の統廃合を行うことの難しさをあげている。本市は現状の組織体制と財源措置などを再考し、さらに地域住民、利用者の理解の上でどのように進めていくのか考えを示せ

・　ＩＣＴによるデータの一元管理と橋りょうなどの自動検査体制の構築に向けてどのように検討してきたのか認識を示せ

②　施設建物系公共施設マネジメント

・　全ての施設を維持することは困難であると考える。そこ

で、施設の統廃合や複合施設などのファシリティマネジメント（再配置計画）が必要であると認識している。ファシリティマネジメントへの認識を示せ

・　ファシリティマネジメントでは、市の全域、地域（校区）、住区（身近な地域）と区分し検討を行い、全体最適性を求めることが望ましいと考えるが認識を示せ

③　社会基盤系の長寿命化と公共施設マネジメント

・　道路、橋りょう、上下水道などの社会基盤系公共施設は、施設建物系に比べ削減は難しいことから、一般的には施設を維持することが前提になる。現在本市においても関係所管課で長寿命化計画が実施されているところ、計画策定中のところがある。将来のコスト推計を行い予算の制約の範囲内でどのように進めていくのか考え方を示せ

⑵　地域防災計画の見直しについて

①　本市全体の防災と地区別防災の現状と課題

・　現在の防災組織の仕組みは、市、県、防災関係機関、消防団、婦人消防隊と町内会などの自主防災組織、事業所の自主防災組織の６つで構成されている。私は、自主防災組織については、地域（中学校区・旧町村）を位置づけ、市全体で行うもの、地域で行うもの、住民の身近なところで行う体制が望ましく、そのことによって地域に防災拠点、情報通信体制、物資を配置することができると考えるが認識を示せ

・　組織運営のあり方については、発生から２日目まで、３日目から７日目、８日以降と時間の経過によってそれぞれ求められるものが変化すると言われている。それに合わせた組織と運営についてどのように検討されてきたのか示せ

②　本市全体の防災と地区別防災の仕組みづくり

・　地域における役割分担の仕組みをつくるためには、地域の定義を明確にする必要があると考えるが見解を示せ

・　自主防災組織に町内会が位置づけられている。町内会の特徴と役割から考えれば、地域において大変重要なことを担っていただいている。また、運営は住民の自発性を基本としている。しかし、町内会の役割と位置づけは、明確にされているわけでない。町内会の運営のあり方を点検し役割と位置づけを明確にすべきであると考えるが見解を示せ

③　業務継続計画

・　災害時に優先して継続される業務について、全庁内での

計画を設定し災害時へ備えることが重要と考えるが認識を示せ

11　議　員　　古　川　雄　一

⑴　観光振興について

①　鶴ヶ城プロジェクションマッピング「はるか」の経緯と継続

・　ことし３月９日から10日に行われた鶴ヶ城プロジェクションマッピング実現までの経緯を示せ

・　製作費はどのくらいかかり、それはどうしたのか、市の持ち出しはあったのか、また協賛業者はあったのか認識を示せ

・　２日間でどのくらいの人が見に来たのか、市民への事前周知や当日の本丸への入場と入れかえなどで問題はなかったのか認識を示せ

・　今後、毎年のイベントとして期待する声もあるが、再上映の可能性はあるのか、あるとしたらそれはいつなのか、ない場合なぜないのか見解を示せ

②　会津まつりや会津絵ろうそくまつりの実施内容

・　それぞれの実行委員会のあり方と市のかかわり方への見解を示せ

・　メーンイベントの会津藩公行列に対する現状認識と今後のあり方への見解を示せ

・　鼓笛隊パレードの現状認識と今後のあり方への見解を示せ

・　会津磐梯山踊りの現状認識と今後のあり方への見解を示せ

・　会津まつりに来た観光客をどう宿泊に結びつけていくのか、ＰＲ方法など市の取り組みを示せ

③　温泉地域活性化

・　ことしは入湯税の税収が上がっている。しかし来年以降のことを考えると大変厳しいものがあると思う。ことしのうちに対策を講じなければならない。そのためには入湯税の増収分を還元する意味で温泉地域活性化推進事業補助金を増額すべきと思うが見解を示せ

・　温泉地域の景観を損ね、観光客に悪い印象を与えている空き旅館ホテル対策が急がれているが認識を示せ

⑵　おけいを通したゆかりの地との交流について

① おけいを通したアメリカ合衆国カリフォルニア州コロマ村との交流

・ アメリカ合衆国カリフォルニア州エルドラド郡コロマ村は本市にとってゆかりの地である。過去に３回実施されたおけい墓参団や東山小学校とゴールドトレール校との交流があるが、これからの市のかかわりを示せ

・ ５月18日に現地で開催された若松コロニーフェスティバルの案内が市長宛てに来た。しかし出席できずに民間の出席者に市長の親書を預けた。市としての今後の交流のあり方への見解を示せ

・ 新聞報道によると、平成31年にはアメリカ入植 150 周年を迎えるので、その時は多くの市民が若松コロニーを訪れるために準備したいと市長のコメントが出ていたが認識を示せ

12 議 員 鈴 木 陽

⑴ 子育て支援について

① 母子生活支援施設すずらん寮の運営

・ 母子生活支援施設すずらん寮は、平成23年度から休所されているが、母子生活支援施設の役割と重要性は、大きくなっている。すずらん寮が、閉鎖ではなく休所とされ今年度も予算措置していることからも明らかだ。しかし、休所という曖昧な運営が、早３年間になる。子育て支援を最重要視する市長としていかがなものか認識を示せ

・ 施設の果たす役割の重要性を踏まえると早期開所が必要と考える。公設公営に捉われない施設建設もあわせ、あらゆる手法を視野にいれ検討すると答弁しているが、開設へ向けた検討内容を示せ

・ 平成24年９月定例会での答弁で、本施設の目的が、単に母子の養護だけではなく、自立支援をする特性をもつ施設であるとしている。施設の特性と運営経費をあわせ検討すれば、生活支援と自立支援を併せ持つ複合的施設の設置を検討すべきと考えるが、開所の目途も含めた見解を示せ

② こどもクラブの運営

・ こどもクラブの運営において、当初の対象小学校以外からの利用者がふえている現状を示せ

・ 対象小学校のこどもクラブの利用が、定員を超えるときは、小学校区外のこどもクラブを利用することになるが、

学校教育上、放課後の生活指導上問題はないか認識を示せ

・　今後、対象児童が、小学校６年生まで拡大するが、施設建設が必要なケースが生じないか検討状況を示せ。対象児童拡大に対する対策が遅れているのではないか認識を示せ

⑵　行政機構のあり方について

①　こども課設置の教訓

・　平成24年４月からこども課が設置されたが、今年度から、こども家庭課とこども保育課の２つの課となった。機構改革において、市民サービスの向上を図ることは当然としても、何よりも、事務事業の円滑かつ的確な遂行が、図られなければならない。その点では、拙速であった点は否めないのではないか。この機構改革から学ぶべきものは多いと考えるが認識を示せ

・　市民が、市役所に市民サービス向上として求めるものは、第一義的に窓口の一本化なのか見解を示せ

⑶　会津若松観光物産協会と一般財団法人会津若松市観光公社の統合について

①　統合組織の役割

・　観光、物産、まつりの３協会統合の観光物産協会の統合時の目的とされたものは、どのようなものであり、観光公社との統合ではどのように総括されたのか認識を示せ

・　今回の統合協議では、その総括をどのように検討し、今後の運営に生かそうとしているのか認識を示せ

・　今回の統合で、統合の対象とならないまつり協会の果たした役割の受け皿はどのようになるのか。統合検討の中で、置き去りにされてはいないか。検討状況と認識を示せ

②　行政の役割

・　本市は、商工観光部を観光商工部とし、観光を基幹産業の中でも特に押し出している。行政として、観光の分野で大きな役割を果たしている観光物産協会と観光公社の統合検討において、どのような役割と責任をもつものと考えているのか。また、統合後は、当然、多くの権限を持つこととなる新組織において、どのような役割と責任をもつものと考えるのか認識を示せ

⑷　個人情報保護について

①　情報公開及び個人情報保護審査会の設置と役割

・　地域経営型包括支援クラウドモデル構築事業の検討において、平成25年２月定例会では、事業検討が一定進み、指

定事業団体の検討状況も踏まえ、審査会に諮りたいと答弁しているが、審査会の役割と設置への認識を示せ。また、検討段階で、委員会等を設置し、専門家、関係者等の意見等を反映し検討を行いたいとしているが、審査会との関係を示せ

・　本市個人情報保護条例の理念としては、個人情報の捉え方、電子データの管理、情報の結合等について、市民とともに個人情報保護のあり方を審議するものであるべきと考える。一定の庁内検討結果が出た上での審査会は、庁内検討結果の、追認的審議となるのではないか認識を示せ

・　事業の検討において、事業の庁内検討を経る前に、まず、概略的検討内容を審査会に示し、その上で、庁内検討結果について、改めて審査会に諮ることが、市民との合意形成にとって有効であり個人情報保護の理念に沿うものと考えるが認識を示せ

13　議　員　　樋　川　　誠

⑴　雇用対策について

①　富士通株式会社の早期退職者問題に対する対応

・　富士通は、国内で管理職と半導体事業の従業員を対象に募った早期退職に計 2,454 人が応募したと発表された。そのうち本市内の富士通セミコンダクターグループ２社の全従業員 1,100 人中、 400 人を超える応募があった。今後市として、再就職支援やハローワークとの連携をどのように図り、具体的な支援を行っていくのか見解を示せ

・　今後工場存続に対する具体的な取り組みをどのように図るのか。また、新たな事業展開時の支援をどのように対応するのか見解を示せ

②　今後の雇用対策

・　今後、地域経済が持続していくためには、市民が安定した生活を送り、若者が会津に住み続け生活できる具体的な雇用対策が必要であるが、どのように取り組んでいくのか見解を示せ

⑵　学校耐震化について

①　学校耐震化

・　本市学校の屋内運動場等の天井等について、学校設置者による耐震点検はどの程度実施されているのか。また、耐震点検の結果、対策が必要とされた学校はどの程度あり、

それらの対策の現状はどうなのか見解を示せ

・　平成24年12月の山梨県の中央自動車道笹子トンネル天井板崩落事故では９人の命が失われ、天井落下による危険性を再認識した。全国でトンネルの総点検が行われ、天井撤去工事が進められている。つり天井を有する屋内運動場等の落下防止対策として、天井撤去、補強による耐震化、再設置といった方法があるが、図面による診断で明らかに危険性が高い場合は、実地による詳細な診断を行わずとも、撤去等の対策を検討することが可能であり、また、撤去という方法であれば、国土交通省の新たな基準の制定を待たずとも今すぐ対応できる。子供たちの命を守ることを最優先とし、安全性の確保に万全を期すため、この際、落下危険性のある天井は全て撤去してしまうべきと考えるが見解を示せ

②　長寿命化計画事業

・　本市でも建築後25年以上経過している公立小中学校施設が約７割を占める中で、公立学校の老朽化対策については、昨今の厳しい財政状況も考慮すれば、中長期的な整備計画を策定の上、これまでの改築や建てかえだけでなく、長寿命化計画を策定し、より効率的かつ効果的に対策を進めるべきと考えるが見解を示せ

14　議　員　　斎　藤　基　雄

⑴　要介護認定者の障害者控除について

①　申請状況と控除対象者認定基準の現状

・　高齢福祉課の資料によれば、2012年12月31日現在、要介護１以上の認定者数 4,463 人のうち障害者控除対象者認定書の該当者が 4,271 人となっているが、この差である 192 人は、要介護認定を受けていても、控除対象者に該当しないことを意味している。この 192 人はどのような認定基準に基づき発生した人数なのか認識を示せ。また、これ以外の普通障害者控除と特別障害者控除の認定基準を示せ

・　障害者控除対象該当者 4,271 人のうち世帯員全員が非課税である要介護認定者数は 2,046 人であり、その差である 2,225 人が課税世帯で障害者控除対象者認定書の該当者となる。また、この時の控除対象者認定書の発行枚数は 210 枚となっている。従って、課税世帯で障害者控除対象者の人数 2,225 人と認定書発行枚数 210 との差である 2,015 人

は、課税世帯でありながら控除対象者認定書を取得していない世帯ということになるが、この 2,015 人はどのような方々と考えられるのか認識を示せ

・　要介護認定者に対する障害者控除制度の周知方法を示せ

・　障害者控除においては住民税と所得税が対象となるが、現行の周知方法によって住民税が非課税で所得税が課税される世帯への周知にも遺漏はないのか認識を示せ

・　前述２税の双方または一方を納税する要介護認定者及びその人を含む世帯は、全て障害者控除を受ける権利があると考えるが認識を示せ

・　要介護認定を受けていても障害者控除の対象者にならない場合のある、現行の認定基準の見直しを図るべきと考えるが認識を示せ

②　控除対象者認定書の自動発行に対する認識

・　市民の利便性に配慮し、控除対象者認定書を申請がなくても対象者に自動的に発行すべきと考えるが、その認識と課題を示せ

⑵　会津図書館を活用した地域振興・経済活性化策について

①　これまでの枠に捉われない図書館の活用方法

・　先頃、本市ではＮＴＴビル内に、本格的なビジネス・インキュベーション施設として会津若松市街なかビジネスインキュベーションセンターＮＡＸＩＡ（ナクシア）が誕生し、新たな起業や地域経済活性化につながるものとして期待されている。長引く不況や震災、原発事故の影響がまだまだ続いている本市において、地場産業の振興や地域経済活性化のために、行政はこれまでにない発想を持って行政資源を活用すること、また全国の先進的事例に学ぶことが重要と考える。鳥取県立図書館は、2004 年から全国に先駆けてビジネス支援を始めて注目を集めているが、本市においても、会津図書館の機能を高め、ビジネス支援や経済活性化に資する事業、また子育て支援やその他地域振興に資する事業の創設を検討すべきと考えるが認識を示せ。また、直ちにそのことが困難であるならば、どのような課題があるのか認識を示せ

15　議　員　　横　山　　淳

⑴　女性管理監督職員人材育成について

①　人材育成プラン

・　女性職員の管理監督職員への登用について、具体的な数値目標を定め、そのための短期、中期、長期的な計画を策定し、具体的な取り組みを含め展開すべきだと考えるが見解を示せ

②　男女共同参画との関係

・　平成22年２月定例会において、当時の企画政策部長は「男女共同参画の視点から考えると、女性職員の職域拡大や能力活用がより望まれるが、施策、方針の決定過程の場に男女が対等なパートナーとして、ともに参画できる組織風土や職場環境づくりが重要である」と答弁したが、この課題解決に向けて、人事課とどのように連携し、対策を講じてきたのか見解を示せ

③　女性職員の管理監督職への登用

・　女性管理監督職の比率が依然として低い現実と目指す理想とのかい離をどのように認識し、改善を図るのか見解を示せ

・　女性管理監督職の登用については、男女共同の視点と人事管理・昇任の視点では違っている。この理想と現実のギャップについて、市長はどのように捉えているか見解を示せ

⑵　これからの介護福祉に求められる考え方について

①　介護民俗学という新しい考え方を生かす

・　介護民俗学の手法である聞き書きを介護現場に取り入れるよう、働きかけることへの見解を示せ

・　聞き書きによって高齢者から得られたデータ、情報を集約し、これからのまちづくりに生かすことも必要と考えるが見解を示せ

⑶　鶴城小学校建設について

①　こどもクラブ

・　土地の面積が少ないことを理由に、こどもクラブのためのスペースを設置しないことは理解しがたい。スペース確保のための検討はどのように行なわれたのか見解を示せ

②　屋上の活用

・　スペースの問題は、屋上プールの設置をすることで解決できると考えるが見解を示せ

③　障がい児の受け入れ

・　エレベーター設置によって、身体の障がいをあわせもつ重複障がい児の受け入れが可能になると考えるが、これか

らの障がい児受け入れと、特別支援教育における方針を示せ

④　冷房設備の設置

・　冷房設備未設置予定の理由を示せ。また設置の検討をすべきと考えるが見解を示せ

⑤　学校の森、ビオトープ

・　土地、敷地の有効活用を行い、森やビオトープを設置すべきと考えるが見解を示せ

⑥　エコスクール

・　自然エネルギーによる発電設備の設置をすべきと考えるが見解を示せ

16　議　員　　坂　内　和　彦

⑴　会津ブランド「酒と米」について

①　会津の酒づくりの現状

・　会津の酒づくりの米の需要はどの程度なのか、また、酒造好適米と一般米で地元産の割合は、近年どのように推移をしているか認識を示せ

・　米トレーサビリティ法上は国産米でも限定した産地名でも問題はないが会津米としない、もしくはできない理由を調査した経緯があるか。会津米と表示した方が、酒のブランド性もアップすると考えるが認識を示せ

・　これまで市は、酒づくりのための地元産米の安定供給のために、どのような役割を果たしてきたか。そのための協議会や事業を示せ

②　米の地産地消

・　主食用米、加工用米、政府備蓄米、新規需要米の本市の生産数量の現状と制度的な交付金等も含めた生産者収入額の用途別の差はどのように試算しているか認識を示せ

・　本市の酒づくりをはじめとする実需者（加工業者）の加工用米の需要量はどの程度と把握しているか。近年加工用米が著しく減少しているが、実需者の影響への認識を示せ

・　地産地消の観点から加工用米の推進に当たっては、全国農業協同組合連合会や全国主食集荷協同組合連合会を経由した加工用米の流通では、地元の米を地元の実需者に確実に提供することは困難だと考える。本市独自の契約から販売までの一連の流通の仕組みを構築する必要があると考えるが見解を示せ

③　どぶろくの将来性

・　消費サイドからのどぶろくのニーズの意向調査が有効ではないか。つまりは市内の飲食店や宿泊施設などでのニーズの把握こそ、どぶろく製造の免許取得の意欲喚起につながるのではないかと考えるが見解を示せ

・　どぶろく製造の免許取得と農家民宿など特定農業者の申請では、特定農業者となることの方が、ハードルが高いのではないか。どぶろく製造の免許取得推進を先行し、そのために特定農業者となることが要件化されている発想を転換し、どぶろくに関する研修会などの推進事業を幅広く展開することが有効と考えるが認識を示せ

④　（仮称）日本一酒の里振興条例

・　会津は日本一の清酒の里であり、昨年どぶろく特区にもなった。また百年以上続くワインづくりもある。酒づくりや酒との生活は、会津に長く根付いてきた伝統文化と言える。しかし、一方ではこの大切な伝統産業も消費の減少や生産コストの増大の中、厳しい経営を迫られている。今こそ、会津の中で酒づくり文化をこれからも長く守り続けるとの意識を、まずは広く市民間に醸成し、乾杯は日本酒で行うことや、地元産米で酒をつくり、会津米と原料表示できるような地元産業間の連携を継続的に構築することを目的とした（仮称）日本一酒の里振興条例を制定してはどうかと考えるが見解を示せ

17　議　員　　大　竹　俊　哉

⑴　児童生徒の健全育成について

①　携帯電話の害悪

・　児童生徒が携帯電話を保有することへの認識を示せ

・　平成25年２月に行った携帯電話に関する調査結果と前回行った調査結果とを比較した所感を示せ

・　児童生徒に携帯電話を持たせることは百害あって一利もない。子供に携帯電話を持たせることのリスクを保護者にしっかりと認識させるべきと考えるが対策を示せ

②　携帯型ゲーム機、携帯音楽プレーヤーへの認識

・　携帯型ゲーム機や携帯音楽プレーヤー等の通信機能を利用してチャットやメール、ラインを行っている児童生徒も相当数存在していると認識しているが実態を把握しているのか認識を示せ

③　情報モラル教育への取り組み

・　現在取り組んでいるノーメディアデーは良い取り組みで有用であると認識するがさらなる徹底した取り組みが必要であると考える。今後の方針を示せ

・　もうけ至上主義が台頭し、児童生徒が情報の濁流にのみ込まれている。より良い情報を児童生徒に提供し、また取捨選択の方法を教えるのは大人の責務である。メディアリテラシー教育、情報モラル教育を推進すべきと考えるが見解を示せ

④　体罰の実態と本市の考え方

・　過去３年間における本市の体罰の実態を示せ。また、体罰の疑いを持った保護者からの相談にどのように対応しているのか認識を示せ

・　体罰に認定基準やガイドラインを設けてしまえば、不可逆的に指導する側と指導を受ける側との間に信頼関係が損なわれる。指導者の理不尽な体罰には厳重に抗議するが、そもそも体罰とは何か見解を示せ

⑤　不登校、教室外登校の実態と改善に向けた取り組み

・　平成24年度における不登校、教室外登校の実態を示せ

・　改善に向けた取り組みと成果を示せ

・　スクールカウンセラーが取り扱った相談件数と解決手法、解決に至った事例を示せ

・　改善、解決には指導者数の絶対数が必要と考える。指導力向上策もスクールカウンセラー導入も有効な一つの手法であるかもしれないが、やはり先生の数が足りないと認識する。加配してでも先生が児童生徒一人ひとりにきちんと向き合う時間を確保すべきと考えるが見解を示せ

⑵　おもてなし観光の推進について

①　客観的視点による本市の観光イメージ

・　本市観光に対するイメージ、ニーズ調査等いわゆるマーケティングリサーチはどのように行っているのか認識を示せ

・　客観的視点と主観的視点をあわせ持つ転勤族からの意見聴取をワークショップ形式で行い、本市の観光の戦略イメージを練り上げるべきものと考えるが見解を示せ

②　観光業の防災体制

・　本市が所有、管理する観光施設の防災、減災体制は万全か、消防法上の問題点と防災訓練への取り組み体制を示せ

・　民間の観光施設の防災体制についても、市は指導、協力すべきと考える。実態の把握と指導についてはどのように行っているのか見解を示せ

③　市のイメージキャラクター

・　あかべぇ、お城ボくんが果たしてきた役割と今後の利活用方針を示せ

・　聞くところによると、八重たんについて県はことし１年の活動にとどめる可能性が高いとのことである。八重たんに関わる一切の権利と着ぐるみを取得すべきと考えるが見解を示せ

・　新キャラクタービャッコくんの利活用方針を示せ

・　いわゆるゆるキャラは大いに活用すべきと考えるが、一方ではあかべぇ、お城ボくん、八重たん、ビャッコくん、若松っつん、ゆにばくん、こぼりん、あいちゃんと本市のイメージキャラクターが乱立しているとの声も聞かれる。キャラクターのスクラップアンドビルドも結構だが、くまもんやひこにゃんのように戦略を持って取り扱うべきものと考える。それぞれの戦略的展開策を示せ